

【事例7】

トイレを失敗して
しまうのですが…



<対応例1>

トイレの場所がわかるよう、大きく「トイレ」と書いた紙や「トイレの絵」をドアに貼っておく。

<対応例2>

ファスナーの位置や大きさなど、簡単に脱ぎ着ができる服を選ぶ。

<対応例3>

トイレに行きたいサイン（そわそわする、歩き回るなど）を見逃さず、トイレへ誘導する。

<対応例4>

決まった時間（食後数時間後、起床直後など）に合わせて、トイレに誘導する。

<対応例5>

夜は、トイレまでの道を明るくしておく。

<対応例6>

濡れた下着等を見つけたら、さりげなく片付ける。

本人の
気持ち

- ・失敗したことが恥ずかしい、隠したい
- ・トイレまでの行き方や場所がわからない
- ・トイレに行くことを忘れてしまう
- ・トイレに行きたいことを、人にうまく伝えられない
- ・尿意がわからない

望ましくない対応例

- ・怒る
- ・いやな顔をする
- ・失敗した事実を突きつける

⇒自尊心が傷つき、他の問題行動を引き起こすこともある

